

中学校第1学年 外国語（英語）科 題材名「友達を紹介しよう」

～一般動詞の「三人称・単数・現在形」の学習のまとめ～

1 本題材で人権教育を進めるにあたって

中学校外国語科の目標は「コミュニケーション能力の基礎を養う」ことである。本題材では、一般動詞の「三人称・単数・現在形」の学習のまとめとして、友達紹介のスピーチに取り組む。活動を通して、豊かな表現力を育むとともに、共感的・受容的な聞き方のスキルの向上を図り、コミュニケーションの技能を高め、よりよい対人関係を築こうとする心情や態度を養いたい。

このことは、人権教育における「技能的側面」である能動的な傾聴のスキルや、自己表現力等のコミュニケーション技能を養うことにもつながる。

さらに、人権を尊重したスピーチ文の作成に取り組むことにより、紹介する相手を肯定的に見つめさせ、自他の価値を尊重しようとする態度を育てるとともに、自己価値及び他者の価値を感知する感覚など「価値的・態度的側面」から人権感覚を育てていきたい。

2 題材の目標

友達を紹介するまとまりのある文を書き、スピーチ発表することができる。

3 人権教育を通じて育てたい資質・能力

インタビュー活動や発表活動を通して、相手の話を共感的・受容的に傾聴するとともに、自信を持って自己表現することができる。（技能的側面）
身近な友達の紹介を通して、他者理解を深め、自他の価値を尊重しようとする。（価値的・態度的側面）

4 指導のポイント

(1) 人権感覚を育てる上で大切にしたいポイント

- インタビュー活動やまとめのスピーチ文づくり（Writing 活動）などの協力的な学習活動を通して、自他の価値を尊重しようとする態度を養い、日常的な場面で相手のよさに気づき、それを伝えることの大切さに気付かせるようにする。
- 相手のよさや多様性に気付かせるために、いろいろな国の多様な文化を示すなど学習シートを工夫する。
- 「多様性」という価値をより深く自覚させるために、集団や個人のもつ「違い」に気づき、肯定的に受け止める活動を他教科・領域の学習と関連させて指導する。
- 英語のコミュニケーション活動を通して気付いた自分や友達のよさを、学級における人間関係づくりに活かすようにする。

(2) 人権が尊重される授業づくりの視点

① 自己存在感

発表を最後まで聴く習慣付けや、自分とは異なる意見を寛容的に受け入れたり、がんばりを賞賛し合ったりする雰囲気づくりを行う。

② 共感的人間関係

インタビュー活動やスピーチ発表を通して、互いを知り合い、互いのよさを認め合う人間関係づくりを行う。

③ 自己選択・決定

聞き手や内容に応じた表現ができるように、暗唱、声量、発音、アイコンタクト、適切なジェスチャーなど相手にとって分かりやすく伝える方法を提示し、スピーチ発表に生かせるようにする。

5 学習の流れ

人権尊重の意識と実践力を養う学習活動例

目標

◇一般動詞の「三人称・単数・現在形」などの既習事項を含む文を用いて、「友達紹介」のスピーチ文を作成することができる。また、声量、発音、アイコンタクトなどに留意しながら、発表することができる。

人権教育で育てたい資質・能力

◆学級の友達の個性やよさなどの多様性に気付き、互いの考えや表現の違いを認め、自他を尊重しようとする。(価値的・態度的側面)

主な学習活動	○指導者の工夫・留意点 評価◇◆	備考
<p>1 復習</p> <p>(1) 口頭練習 写真の人物から気付いたことを、一般動詞の「三人称・単数・現在形」を使って表現する。</p> <p>(2) 友達当てクイズ(ペア・ワーク) “Does she/he ~?” の文を使って、「人物当てクイズ」をする。</p>	<p>○繰り返し練習することで、一般動詞の「三人称・単数・現在形」の定着を図る。</p> <p>○同じ人物の写真でも、多様な表現ができることに気付かせる。 (例) She <u>likes</u> soccer. She <u>plays</u> soccer.</p> <p>○前時のプリントを再活用することで、“Does”を使った疑問文と応答の仕方の定着を図る。</p>	<p>ワークシート (資料1)</p> <p>ワークシート (資料1)</p>
<p>2 スピーチ文の作成</p> <p>(1) 教師のモデル文を聞く。また、その内容について英語で質問する。 (教師のスピーチ例) Hello. This is my friend, Joe. He lives in America. He likes baseball very much. He is a good baseball player. He likes animals, too. He has a dog. He does a volunteer work on weekends. He is very kind. Thank you.</p> <p>(2) 「本時の目標」を知る。</p>	<p>○聞き取りのポイントを示し、生徒の理解を促す。また、教師と生徒のやり取り(英問英答等)を通してポイントの確認及び、スピーチの内容が理解できているかどうか確認する。</p> <p>○質問に答えながら、本時の活動(スピーチ発表から英問英答への流れ)のモデルを提示する。</p> <p>○発表上の留意点(声量、発音、アイコンタクトなど)を示す。</p>	<p>友達の写真</p> <p>発表上の留意点を示した掲示物</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【本時の目標】 英語で「友達紹介」のスピーチをすることができる。</p> </div>		
<p>(3) インタビュー活動 友達に英語でインタビューする。</p>	<p>○ワークシート上の質問項目に、自分で考えた質問を1~2文付け加えるよう指示する。</p>	<p>ワークシート (資料2)</p>

<p>(4) スピーチ原稿の作成 インタビューして友達について気付いたことを英文にまとめる。</p>	<p>○相手の答えに対して、“I see.” “Really?” “That’s great!” など、相づちを打ちながら、共感的・受容的な聞き方をするように指示する。</p> <p>○まとめる際に、紹介する相手のいいところをできるだけ挙げるよう指示する。 (例) He is a good player. She is very kind.</p> <p>◇友達へのインタビューをもとに、まとまりのある紹介文を作成することができる。</p>	<p>ワークシート (資料2)</p>
<p>3 スピーチ発表 (1) 発表練習 (個人→ペア)</p> <p>(2) グループ内での発表及び英語での質疑応答</p> <p>(3) 全体発表及び英語での質疑応答</p>	<p>○自信を持って発表できるように練習の時間を確保するとともに、「発表上の留意点」を参考にしたり、Read & Look-up の手法等を使って暗唱したりしながら練習するように指示する。</p> <p>○ペアで発表の仕方についてアドバイスし合うよう指示する。</p> <p>○1人1回は質問するように促す。また、発表後は互いのがんばりを拍手などで認め合う。</p> <p>◇声量、発音、アイコンタクトなどに気を付けながら発表することができる。</p> <p>◆発表から友達の個性やよさなどの多様性に気付き、互いの考えや表現の違いを認め、自他を尊重しようとする。</p> <p>○できるだけ多くの生徒の発表を促す。</p> <p>○共感的・受容的な聞き方をするように指示する。</p>	
<p>4 本時のまとめと相互評価</p>	<p>○発表者のよかったところについて発表させる。</p> <p>○生徒のよい例文をいくつか示し、自分のスピーチの参考にさせる。</p> <p>○文法上の誤りなど注意する点をおさえる。</p>	

6 資料

資料1 (学習活動1. 復習 (1) 口頭練習 (2) 人物当てクイズのワークシート例)

1. 一般動詞の「三人称・単数・現在形」(肯定文)の練習

○例にならい、下の人物について言えることを英語で言ってみましょう。

(例) He likes baseball. He plays baseball.

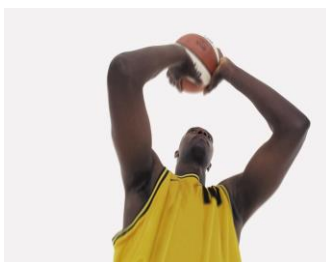
(1)



(2)



(3)



(4)



※写真は Microsoft クリップ・アートより

2. 一般動詞の「三人称・単数・現在形」(疑問文)の練習

【友達当てクイズ】

例にならってペアで会話をしながら、相手が選んだ友達を当ててみましょう。
ただし、下の表の①～④まで必ず質問しましょう。

(例) ① A : Does your friend live in America?

B : Yes, she does. / No, she doesn't.

② A : Does she play the violin?







B : Yes, she does. / No, she doesn't.

③ A : Does she like math?

B : Yes, she does. / No, she doesn't.

④ A : Is your friend Lucy?

B : Yes, she is.

①住んでいるところ	China	Italy	America	Canada	Australia	Brazil
②趣味・特技	ギター	ピアノ	バスケット ボール	野 球	トランペット	サッカー
③好きな教科	history (歴史)	music (音楽)	P.E. (体育)	math (数学)	science (科学)	English (英語)
④名前	 Meiling	 Anita	 Mary	 Bob	 Mike	 Lucas

写真は Microsoft クリップ・アートより

英語で友達を紹介しよう!

1. (1) ~ (3) の質問について、友達にインタビューしてみましょう。
 また、(4) (5) はもっと聞きたいことを自分で考えて質問してみましょう。
 ※質問には、できるだけ2文以上で答えるようにしましょう。

QUESTIONS	Your Answers	Your Friend's Answers
(1) Do you play any sports?		
(2) What's your favorite subject?		
(3) What do you do on weekends?		
(4)		
(5)		

2. 例にならい、友達にインタビューして分かったことを内容ごと (スポーツ、教科、週末にすることなど) にまとめ、スピーチ文を作りましょう。
 ※紹介する相手のいいところを必ず1文入れるようにしましょう。(例)*の文

<p>(例1)</p> <p>This is my friend, Yumi. She plays tennis. She is on the tennis team. She likes English very much. *She speaks it very well. She likes music. She likes K-POP very much. She has many CDs. She listens to music on weekends. Thank you.</p>	<p>(例2)</p> <p>This is my friend, Ken. He likes soccer. He plays soccer with his friends on weekends. *He is a very good player. He likes P. E. He runs very fast. He has a dog. He loves his dog. *He is a nice boy. Thank you.</p>
--	---

This is my friend! (私の友達を紹介します!)

Thank you.

3. 発表してみましょう。(発表上の留意点)
 ①暗唱、②声量、③発音、④アイコンタクト、⑤適切なジェスチャーの5つに気をつけて、グループや学級で発表しましょう。